



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年9月3日

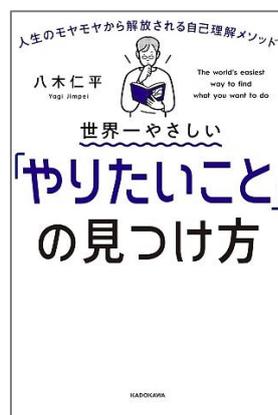
第9号

じぶん なにもの
自分が何者かがわかること

キャストとして行動する理由



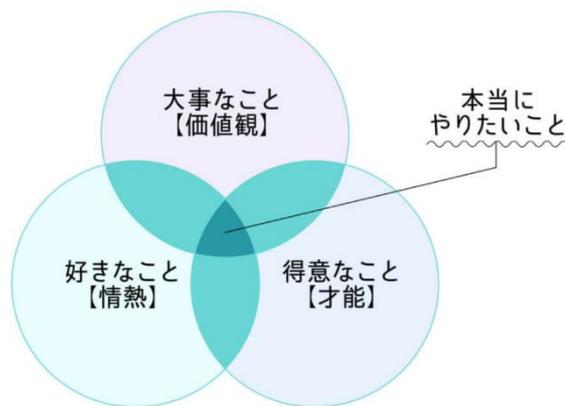
しぎょうしき なつやす ちゅう どくしょ はなし
始業式で「夏休まず」中の読書の話をしました。そのうちの1冊が、八木仁平さんの『「やりたいこと」のを見つけ方』です。みなさんは、学校を卒業したら、自ら判断し、自律し、自分の人生を生きていくこととなります。しかし、自律して生きていくことは急にできるようになるわけではなく、準備が必要です。つまり、学校で生活している間に、自分の思いや自分の役割、自分の強みをみつけ、自分の生き方を考える…そういった経験をしておくことが重要になってきます。



ちよしゃ
著者の八木さんによると、「やりたいこと」とは、「好きなこと」と「得意なこと」、「大事なこと」の3つが重なるところに存在するそうです。であるならば、上記の3つが何であるかを知っていなければなりません。これは

- *好きなこと … ゲーム × → 一つ一つの課題を順番にクリアしていくこと ○
- *得意なこと … 英語 × → 言葉を使ってコミュニケーションをとること ○
- *大事なこと … 金 × → 経済的に安定することが何よりも大切 ○

ということです。自分が何者かがわかっているから、「やりたいこと」が見つかるわけです。



これは、様々な経験をする中で、だんだんとわかってきます。経験の中で「気づく」という言い方もできます。しかし、「言われるままに動く」、もしくは、「言われても動かない」のでは、気づけない場合が多いのです。進路を決定する時が来て、「あなたは何がやりたいの？」と質問されても答えられないのは、普段から「自分」という物差しで行動していないからなのです。自分で考え判断し、行動していないのです。

だからこそ、中部中学校では、「キャストとして行動する」ことを生徒のみなさんに勧めています。特別に

難しいことに挑戦するのではなく、「自分なら無理なくできることは何だろう。」と考えてやってみる。もちろん、初めてのことならば、最初からうまくはいきません。失敗もするでしょう。ここで大切なのが、失敗を許し、包み込む仲間の存在です。あなたも私も失敗する。全員が挑戦しているからこそ、全員が何らかの失敗をする。そんな学校はすてきな、と思うのです。

「キャスト」として行動する理由のもう一つ。それは、「周囲のみんなを笑顔にするために行動する」ということ。300人のキャストが、300の行動をしたら、中部中学校と中部中学校を訪れる人は笑顔でいっぱいになります。中部中学校の笑顔を創るのは、あなたです。自分は何もせずに「つまらない」、「退屈だ」、「だって、でも、無理」とか言っている・・・そんな人の周囲に「笑顔」があふれることはありえないと思うのです。



ロケット・スタート 中部中

学期が始まり、早速テストだったり、久しぶりの仲間とレクリエーションをしたり、それぞれの学年で様々な活動が行われています。こういう日常でも、キャストとして行動しているかどうか問われます。



3年生は、「夏休まず」中の思い出を、1枚のスライドにまとめて『プレゼン』を行いました。自分の思いを熱を込めて、(原稿を読まずに)相手に伝える

ことはできたかな？ 小さな取り組みだけど、積み重ねれば必ず力となります。1年生、2年生の学年集会でも、2学期に成長するためのポイントを先生から話してもらいましたね。

* 全体での話や頼まれごと、注意してほしいことなど、他人事ではなく自分に言われていることだと思っ
意識すること

* キャストとして、先輩として、前向きに取り組んでいく先に、大きな成長がある

繰り返しになりますが、やってみる＝経験してこそ、気づきがあるのです。成長するとは、自分が変わることです。みなさんの成長が、今から楽しみです。

あたら
新しい YEF の「ネイサン」さんです。

中部中のことを好きになってもらえるように、たくさん話をしよう！

